

# 平成 26 年度のごみ処理状況について

富士市環境部廃棄物対策課

# 平成 26 年度のごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量・焼却量ともに前年比2,000トンを超える減量を達成～

…… フジスマートプラン21に掲げる目標値の達成状況について、1人1日当たりの排出量は目標値を達成できましたが、焼却量については、過去5年間で最も大きな減少量となったものの、目標値を達成することはできませんでした。……

## 1)ごみ処理総量等

※ 平成23年3月15日に発生した静岡県東部地震による瓦礫は下表のデータ(H22)には含まれていません。  
瓦礫総量:4,913t (うち、リサイクルされたもの:4,898t、埋立処理されたもの:15t)

富士市のごみ処理量 (単位:t)

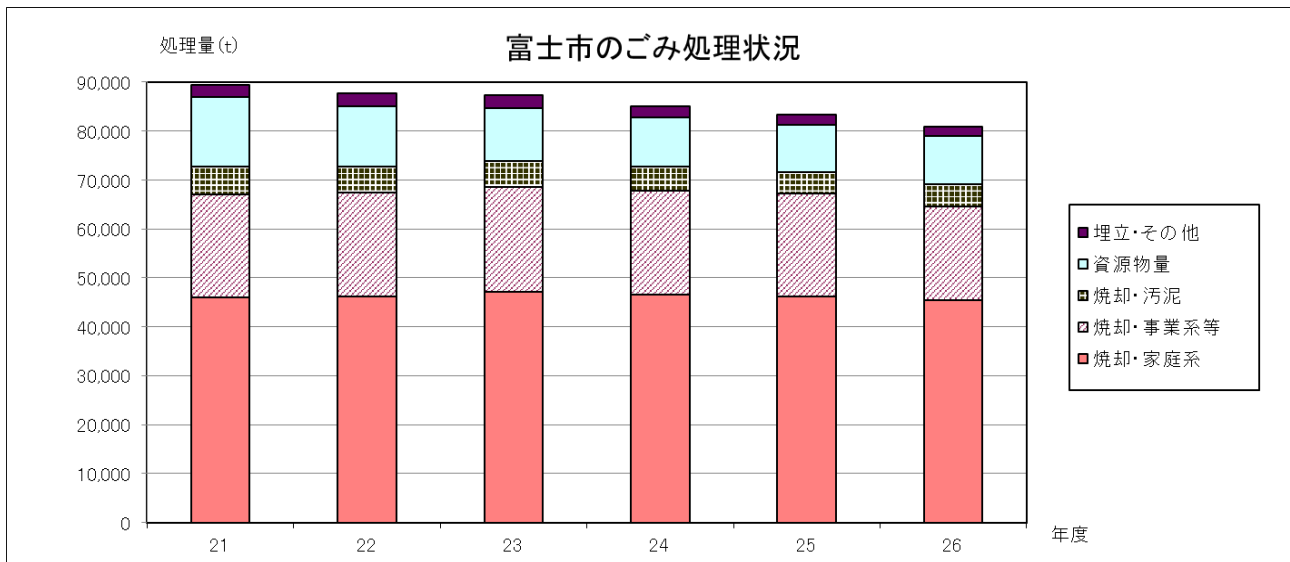
※ 平成24年度のごみ焼却量の中には、東日本大震災による災害廃棄物広域処理分49tが含まれています。

年度		H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	差引
ごみ処理総量*1	量(t)	89,472	87,724	87,344	85,118	83,432	80,824	△ 2,608
	増減率(%)		-2.0%	-0.4%	-2.5%	-2.0%	-3.1%	
焼却量	量(t)	72,716	72,817	73,907	72,821	71,551	69,071	△ 2,480
	増減率(%)		0.1%	1.5%	-1.5%	-1.7%	-3.5%	
家庭系	量(t)	45,942	46,130	47,199	46,625	46,152	45,432	△ 720
	増減率(%)		0.4%	2.3%	-1.2%	-1.0%	-1.6%	
事業系 その他	量(t)	21,196	21,356	21,289	21,253	21,046	19,188	△ 1,858
	増減率(%)		0.8%	-0.3%	-0.2%	-1.0%	-8.8%	
下水・尿・汚泥	量(t)	5,578	5,331	5,419	4,942	4,353	4,451	98
	増減率(%)		-4.4%	1.7%	-8.8%	-11.9%	2.3%	
資源物量 *2	量(t)	14,156	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	327
	増減率(%)		-13.5%	-11.6%	-8.3%	-2.8%	3.4%	
埋立・その他 *3	量(t)	2,600	2,665	2,612	2,375	2,239	1,784	△ 455
	増減率(%)		2.5%	-2.0%	-9.1%	-5.7%	-20.3%	
スマートプラン対象 *4	量(t)	83,476	81,987	81,686	79,879	78,609	76,204	△ 2,405
	増減率(%)		-1.8%	-0.4%	-2.2%	-1.6%	-3.1%	

\*1 端数調整のため、各項目の合計値とごみ処理総量の値は一致しない場合がある \*2 行政回収量のみ把握(集団回収量等については不算入)

\*3 直接埋立、破碎埋立、マット・ソファ・罹災物を含む (罹災物については、対前年比で **300.3** t 減少した)

\*4 スマートプラン対象=ごみ処理総量-(下水・尿汚泥+罹災物)



①ごみ処理総量は、 80,824 tとなり、対前年比で 3.1 % の減少

○前年と比較したごみ処理総量の △ 2,608 t の内訳は、埋立その他で 455 t 減少、資源物量については 327 t 増加、焼却量については 2480 t 減少した。

②環境クリーンセンターでの焼却量は、 69,071 tとなり、対前年比で 3.5 % の減少

○対前年比で家庭系ごみが、 720 t 減少し、 事業系・その他も 1858 t 減少している。

◇ごみ処理総量は減少傾向にあり、前年度までは資源物量の減少(特に古紙類の行政回収量の減少)が大きな要因でしたが、本年度は資源物量が増加し、焼却量が大きく減少しました。

◇焼却量減少の内訳は、家庭系が前年比1.6%の減少、事業系が前年比8.8%の減少となっています。

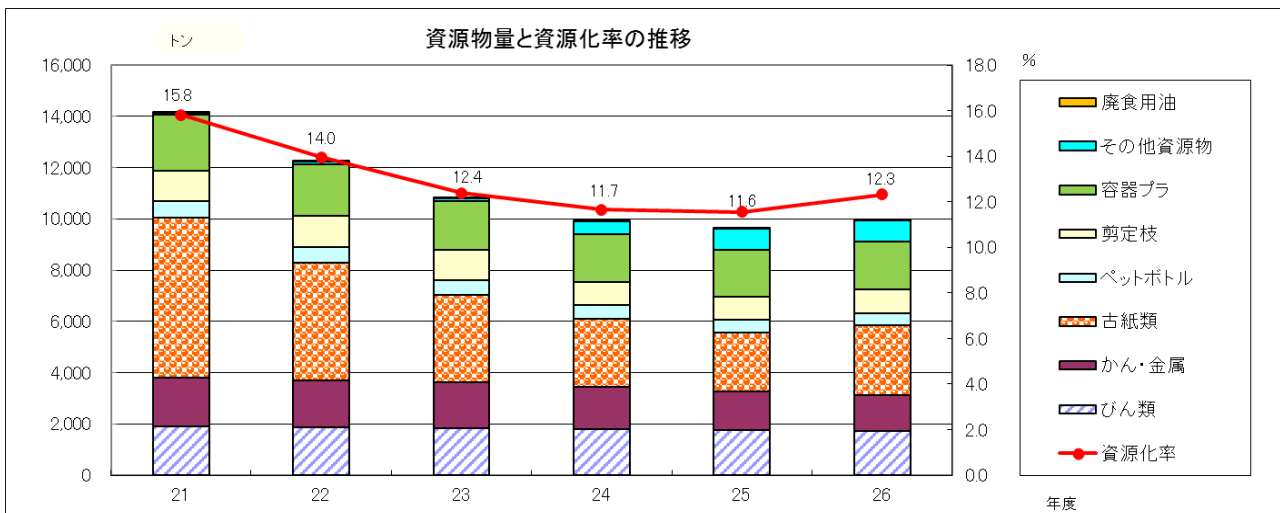
## 2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量(t)と資源化率(%)

項目 \ 年度	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	前年比
資源物総量 *1	14,156	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	327
びん類	1,889	1,875	1,847	1,814	1,752	1,728	△ 24
かん・金属	1,933	1,806	1,792	1,626	1,522	1,413	△ 109
古紙類	6,240	4,609	3,408	2,677	2,301	2,694	393
剪定枝	1,182	1,239	1,190	889	870	946	76
ペットボトル	620	601	547	529	506	471	△ 35
衣類・小物類(靴、鞆、ベルト)	17	19	29	405	443	465	22
その他(電池・コード類・蛍光管)	66	67	82	73	75	71	△ 4
小型家電	0	0	0	36	304	308	4
容器プラ(白色トレイ含む)	2,201	2,016	1,917	1,857	1,849	1,850	1
廃食用油	8	9	13	18	20	22	2
資源化率 *2	15.8%	14.0%	12.4%	11.7%	11.6%	12.3%	0.7

\* 1 端数調整のため、各品目の合計値と資源物総量の値は一致しない場合がある

\* 2 資源物総量÷ごみ処理総量×100【スマートプラン21による資源化率とは算出方法が異なるので注意】



- ①資源物総量は 9,969 t で、対前年比で 327 t ( 3.4 % ) 増加した。
- ②ごみ総量が 減少 し、 資源物総量は 増加 した。その結果、資源化率は 12.3 % となり、前年度を 0.7 ポイント 上回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙類の主要3品目は、対前年比ではそれぞれ  
びん 1.4 % 減少、かん・金属 7.1 % 減少、古紙類 17.1 % 増加となった。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、容器プラ、廃食用油(比較的新しく取り組んだ品目)について

○ペットボトル	35	t	(対前年比	6.9	%)	減少している。
○剪定枝	76	t	(対前年比	8.7	%)	増加している。
○衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)	22	t	(対前年比	4.9	%)	増加している。
○容器プラ	1	t	(対前年比	0.1	%)	増加している。
○廃食用油	2	t	(対前年比	11.9	%)	増加している。

- ◇びん類は、少しずつですが減少傾向にあります。
- ◇かん・金属類、ペットボトルについては、減少傾向で推移しています。
- ◇古紙類は、協働型古紙回収事業の開始により、平成19年度以降はじめて増加に転じました。
- ◇平成24年度から拠点回収を開始した衣類・小物類については、年々増加しています。
- ◇容器プラについては平成21年度の分別収集開始から毎年減少していましたが、本年度は前年度を上回りました。
- ◇廃食用油については、小学校が拠点回収先として定着してきており、増加傾向となっています。

### 3)フジスマートプラン21目標値との対比

- スマートプラン21に基づく1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率について

(単位: g)

年度	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
1人1日当たり排出量(目標値)	940	930	910	890	880	860
1人1日当たり排出量(実績値)	874	860	857	844	834	812
1人1日当たり焼却量(目標値)	682	730	710	680	660	640
1人1日当たり焼却量(実績値)	703	707	718	717	713	688
資源化率(目標値)	27%	19%	20%	21%	22%	23%
資源化率(実績値)	17.0%	14.9%	13.3%	12.4%	12.3%	13.1%

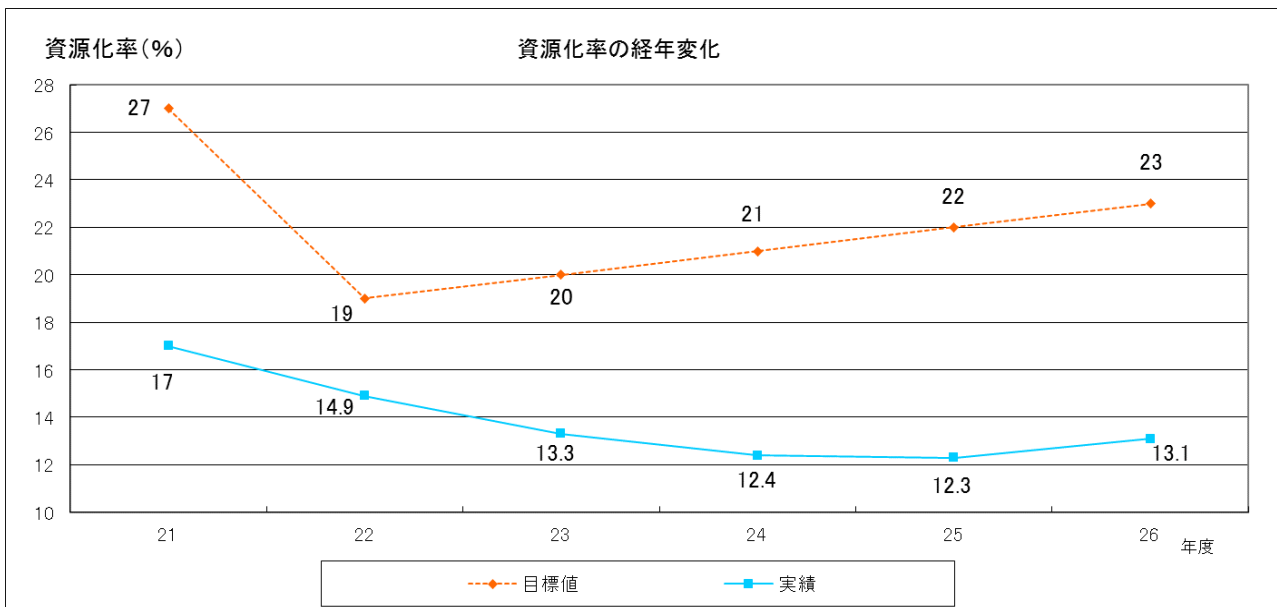
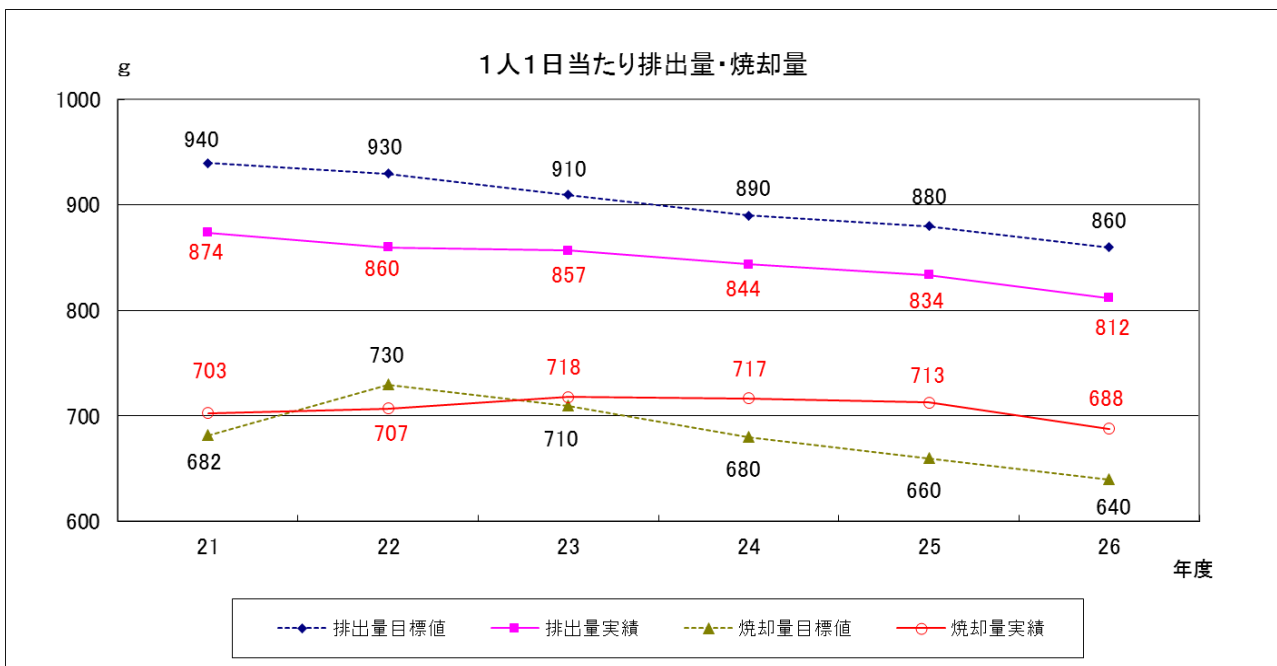
※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物量は除く。

- \* 1人1日当りの排出量(g) = スマートプラン対象(t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000
- \* 1人1日当りの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000
- \* 資源化率(%) = 資源物量 ÷ スマートプラン対象 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)
- \* 富士市人口 257,215 人 ( 3 月末現在)

【スマートプラン対象値の構成】

(単位 : t)

年度		H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	構成比
項目								
焼却量 (下水・し尿汚泥は除く)	量(t)	67,138	67,486	68,488	67,878	67,198	64,620	84.8%
	増減率(%)		0.5%	1.5%	-0.9%	-1.0%	-3.8%	
資源物量	量(t)	14,156	12,242	10,824	9,923	9,642	9,969	13.1%
	増減率(%)		-13.5%	-11.6%	-8.3%	-2.8%	3.4%	
埋立(罹災物を除く)	量(t)	2,181	2,259	2,374	2,078	1,769	1,615	2.1%
	増減率(%)		3.6%	5.1%	-12.4%	-14.9%	-8.7%	
スマートプラン対象	量(t)	83,476	81,987	81,686	79,879	78,609	76,204	100%
	増減率(%)		-1.8%	-0.4%	-2.2%	-1.6%	-3.1%	



①スマートプラン対象値については、76,204 t となり、対前年比で 3.1 % 減少し、  
焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)についても、64,620 t となり、対前年比で 3.8 %の 減少となった。

○スマートプラン対象値における焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)の構成比は、84.8 %であり、対前年比で  
0.7 ポイントの減少となっている。

○スマートプラン対象値における資源物量の構成比は、13.1 %であり、対前年比で 0.8 ポイントの  
増加となっている。

○スマートプラン対象値における埋立量(罹災物は除く)の構成比は、2.1 %であり、対前年比で 0.2 ポイントの  
減少となっている。

②1人1日当たりの排出量は 812 gであり、対前年比で 22 g ( 2.6 %)の  
減少 となり、目標値 860 gに対して 48 g 下回り、目標値を達成した。

◇目標値に対する割合…… 5.6 % 下回り、達成できた。

③1人1日当たりの焼却量は 688 gであり、対前年比で 25 g ( 3.5 %)の  
減少 となり、目標値 640 gに対して 48 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 7.5 % 上回り、達成できていない。

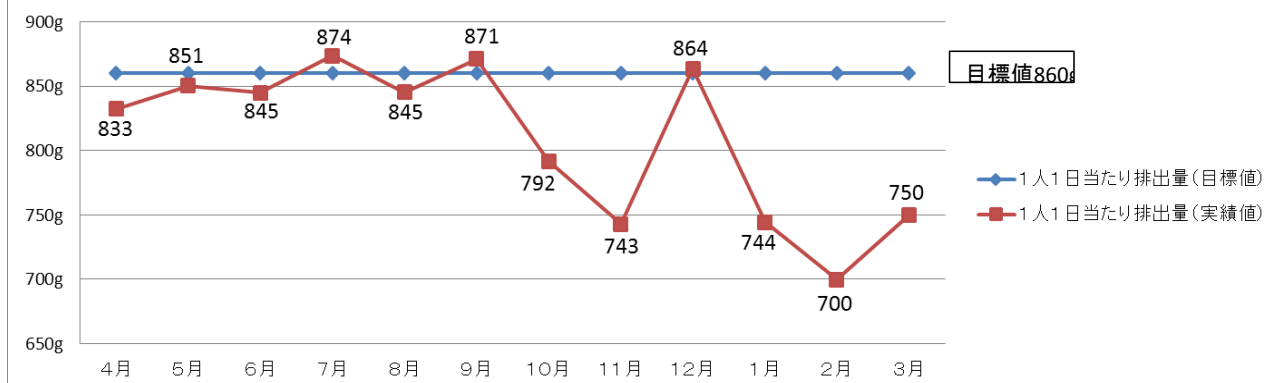
④資源化率は 13.1 %であり、対前年比で 0.8 ポイント上回り、目標値 23 %  
に対しては 9.9 ポイント下回り、目標値を達成できていない。  
(資源物量については、行政回収のみ把握)

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

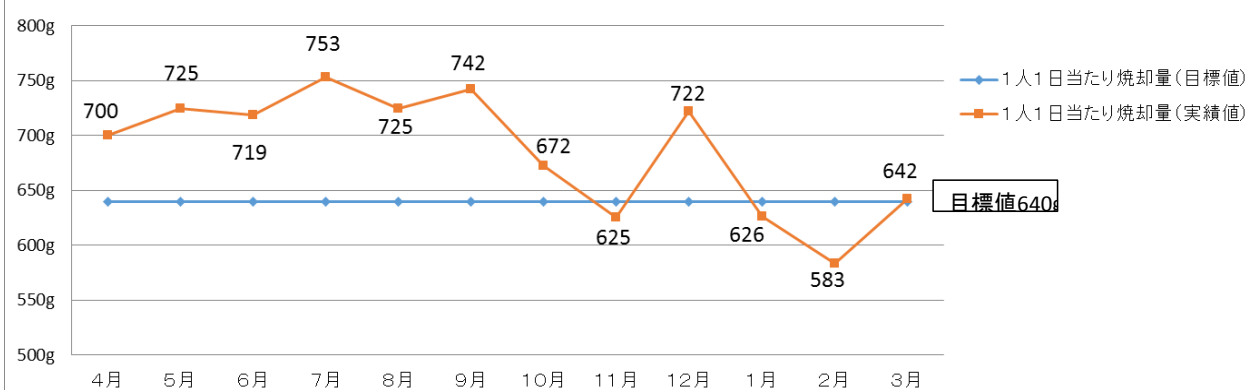
H 26 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1人1日当たり排出量(目標値)	860	860	860	860	860	860	860	860	860	860	860	860
1人1日当たり排出量(実績値)	833	851	845	874	845	871	792	743	864	744	700	750
1人1日当たり焼却量(目標値)	640	640	640	640	640	640	640	640	640	640	640	640
1人1日当たり焼却量(実績値)	700	725	719	753	725	742	672	625	722	626	583	642
資源化率(目標値)	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%
資源化率(実績値)	13.6%	12.5%	13.0%	12.0%	12.3%	13.0%	13.1%	13.4%	14.0%	13.8%	14.4%	12.4%

※ 目標値は、当該年度のフジスマートプラン21に掲げる数値

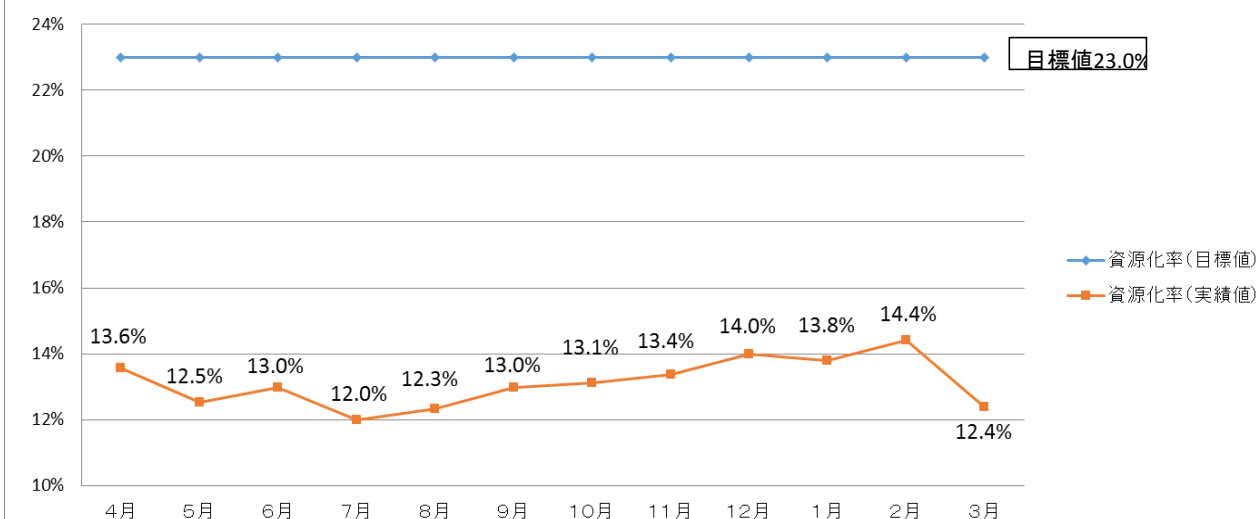
### 各月で見た1人1日当たり排出量の達成状況



### 各月で見た1人1日当たり焼却量の達成状況



### 各月で見た資源化率の達成状況



①1人1日当たりの排出量については、7月、9月、12月を除き目標を達成している。

②1人1日当たりの焼却量については、11月、1月、2月以外は目標を達成していない。

③資源化率については、1年を通じて目標を達成していない。